

## 3月は自殺対策強化月間です

自殺は、全国的に減少傾向にありますが、若年層の主な死因を占めるなど深刻な社会問題になっていきます。鳥取県では平成28年には82人の方が自死により亡くなっています（鳥取県警察統計）。

3月から4月は卒業や進級、退職や就職など、生活環境が大きく変わり、ストレスや不安を抱えやすい時期です。周りにいつもと様子が違う人はいませんか？悩んでいる人の孤立を防ぎ、かけがえのない命を守りましょう。

## 【心の相談窓口】

鳥取県立精神保健福祉センター

☎0857・21・3031

西部総合事務所福祉保健局

☎0859・31・9310

鳥取いのちの電話

☎0857・21・4343

◆問い合わせ先 健康対策課

☎0859・54・5206

大切な人の命を守るために  
できること

## 気づき・傾聴

- ・家族や仲間の発言・行動・体調の変化に気づき、声をかけましょう
- ・話をしてくれたら、相手の気持ちを尊重しながら耳を傾けましょう

## つなぎ

- ・相談を受けたら、早めに専門家に相談するように促しましょう
- ・相談を受けた側も、一人で抱え込まず、家族、友人、上司などに協力を求め、連携をとりましょう

## 見守り

- ・身体や心の健康状態に配慮し、焦らず、優しく寄り添いながら見守りましょう
- ・必要に応じて家族と連携をとり、主治医に情報提供しましょう

大山恵みの  
里だより  
vol.120

問い合わせ先  
大山恵みの里公社  
☎0859-54-6600

★  
小学校で交流給食

全国学校給食週間中の1月24日・30日の両日、名和小学校と大山小学校で「交流給食」が行われました。

大山恵みの里公社では、町内学校給食の食材を日々、給食センター等に配送しています。給食用に野菜等を出荷している生産者と公社職員（24日は13名、30日は3名）が学校に招かれ、児童の皆さんと地元食材をたっぷり使った給食をいただきました。

食事中、児童から「農家のやりがいは何ですか」「一番大変な仕事は？」など質問の声が上がり、参加者は子どもにもわかりやすいよう一生懸命答えました。

子どもたちは、美味しい給食を食べられる背景には、生産者のもとより、さまざまな人たちが関わっていることを感じとってくれました。



▲おいしい野菜を作ります。しっかり食べてね！

★  
梨の取扱いで感謝状を  
いただきました

町内の梨を選果・出荷するJA鳥取西部大山果実部（大山選果場）の発足10周年を記念する大会が、2月2日に開かれました。

大山恵みの里公社は、発足時から大山町産の梨の販売に注力しており、その販売への協力に対して、大山果実部より公社へ感謝状をいただきました。店頭販売はもちろん、ふるさと納税の返礼品としても美味しい大山の梨は大変人気があります。生産者・選果場とも協力し、さらなる販売拡大に尽力していきます。